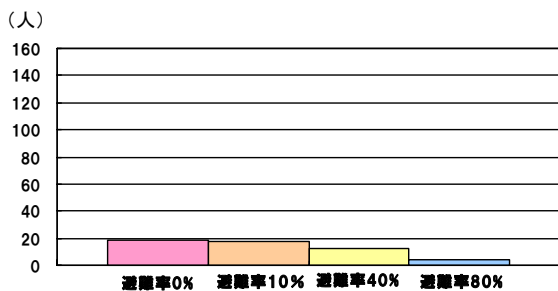
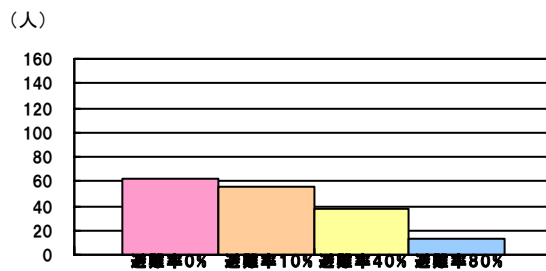


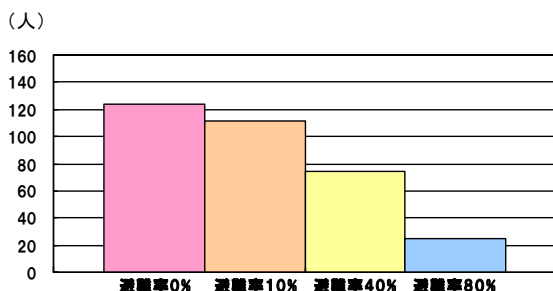
①佐賀市街地拡散型氾濫 地点:左岸15.0km



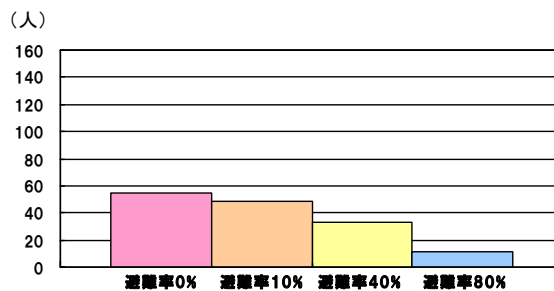
②嘉瀬川左岸拡散型氾濫 破堤地点:左岸8.4km



③大和貯留型氾濫 破堤地点:右岸13.0km



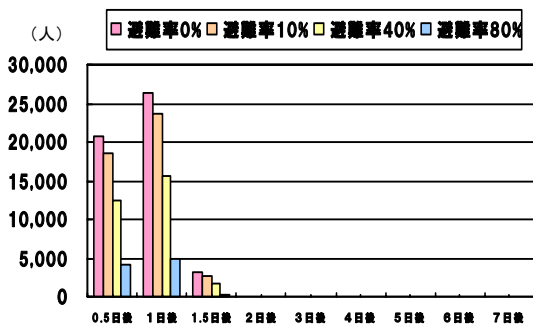
④久保田流下型氾濫 破堤地点:右岸7.0km



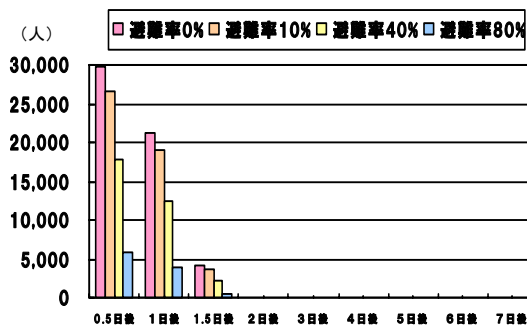
死者数はLIFEsim(ライフシム)モデルにより算出

図 1.3.10 死者数

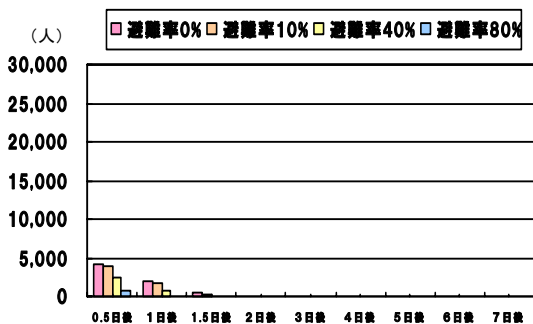
①佐賀市街地拡散型氾濫 地点:左岸15.0km



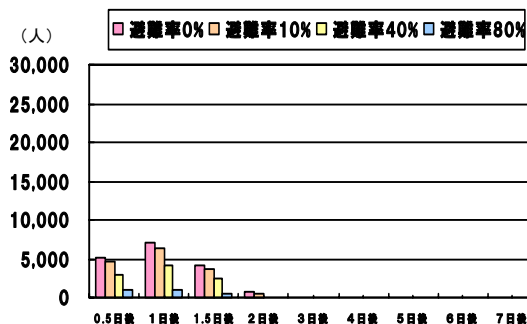
②嘉瀬川左岸拡散型氾濫 破堤地点:左岸8.4km



③大和貯留型氾濫 破堤地点:右岸13.0km



④久保田流下型氾濫 破堤地点:右岸7.0km



孤立者数は内閣府中央防災会議「大規模水害対策に関する専門調査会」が用いた方法により算出

図 1.3.11 孤立者数

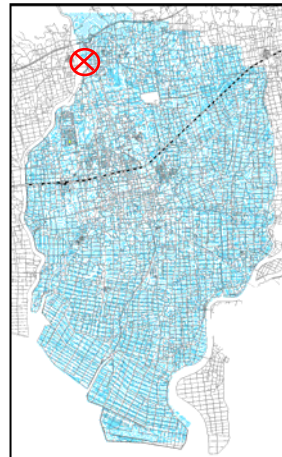
(決壊直前までの状況)



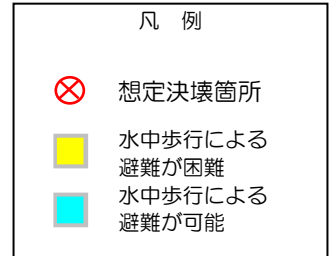
(降雨開始から2時間後)



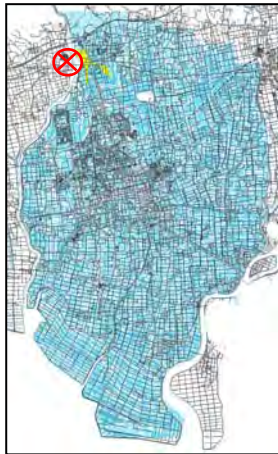
(降雨開始から5時間後)



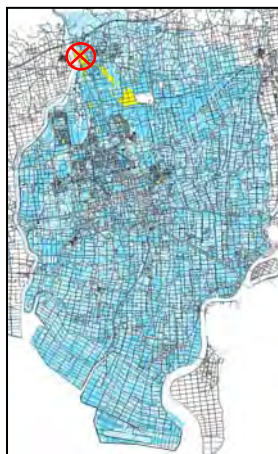
(降雨開始から8時間後)



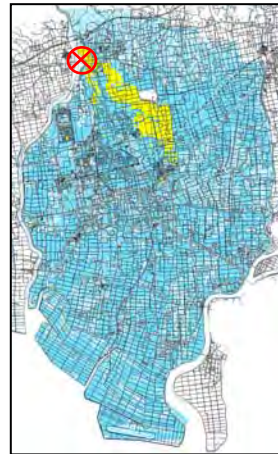
(決壊後から概ね浸水解消までの状況)



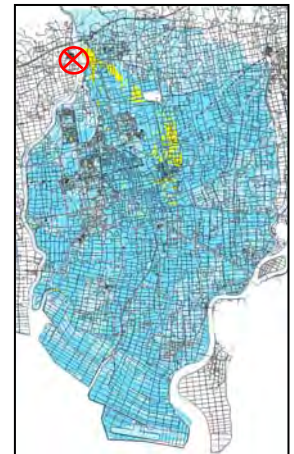
(決壊開始から1時間後)



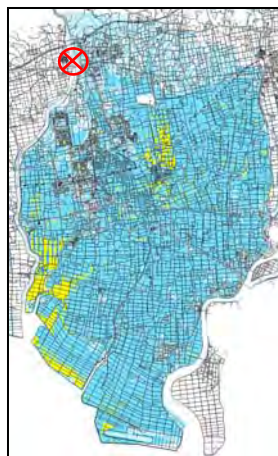
(決壊開始から3時間後)



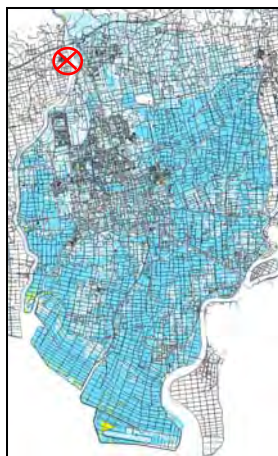
(決壊開始から6時間後)



(決壊開始から12時間後)



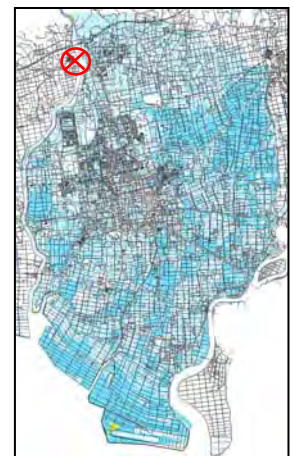
(決壊開始から24時間後)



(決壊開始から2日後)



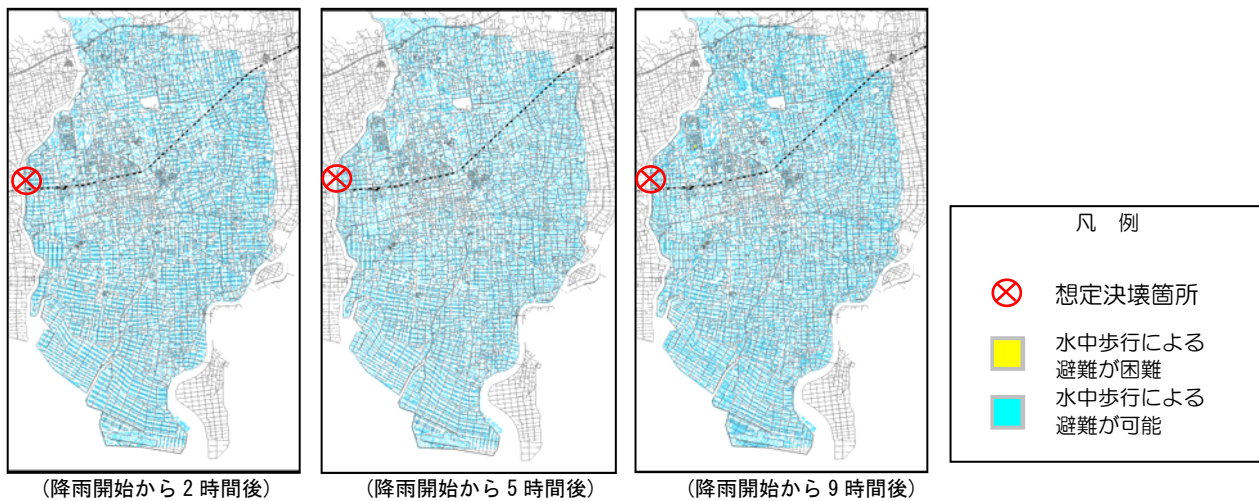
(決壊開始から3日後)



(決壊開始から5日後)

図 1.3.12(1) 水中歩行困難範囲(①佐賀市街地拡散型はん濇)

(決壊直前までの状況)



(決壊後から概ね浸水解消までの状況)

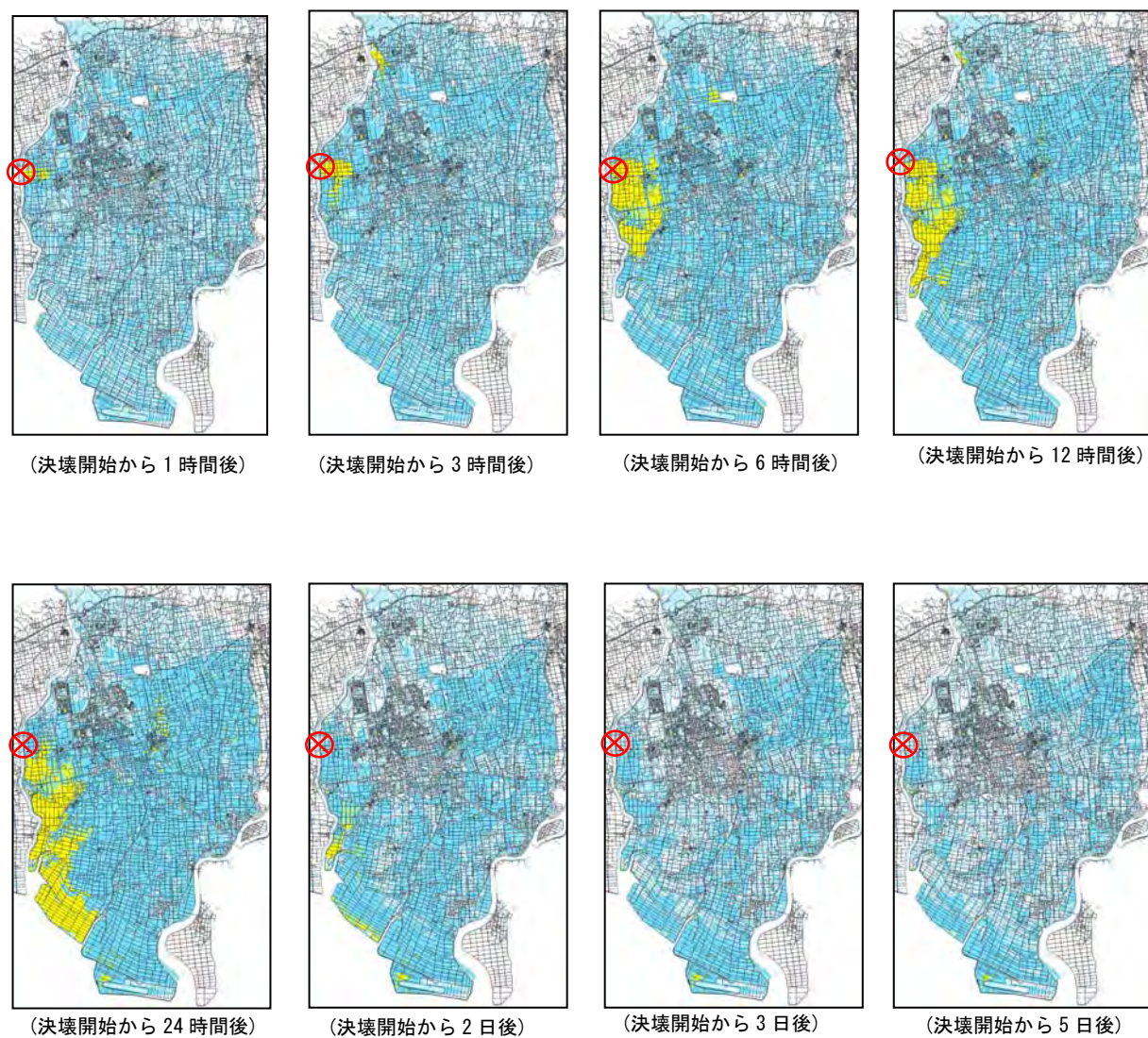
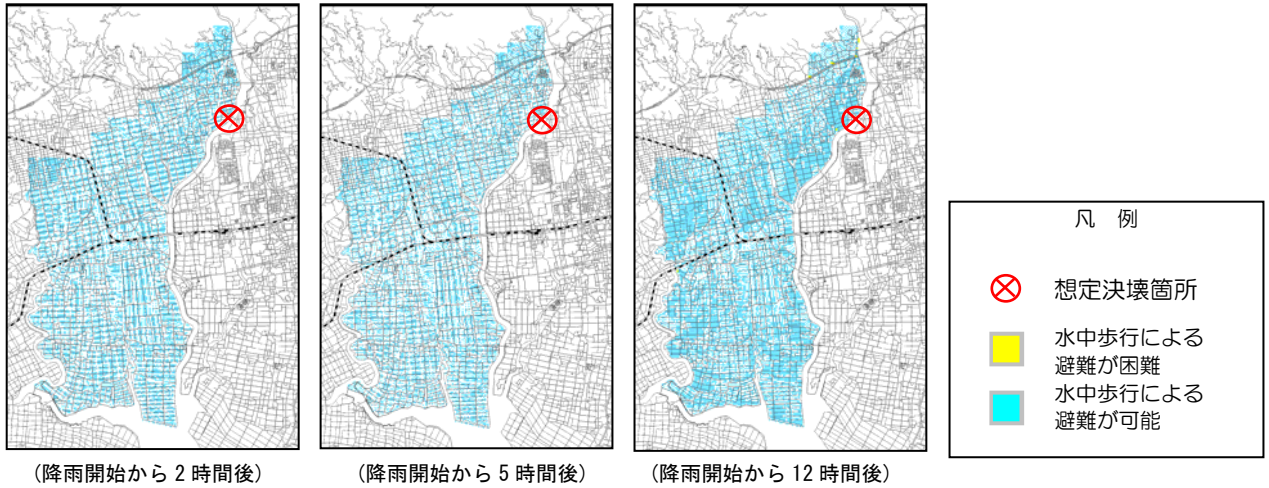


図 1.3.12(2) 水中歩行困難範囲(②嘉瀬川左岸拡散型はん濇)

(決壊直前までの状況)



(決壊後から概ね浸水解消までの状況)

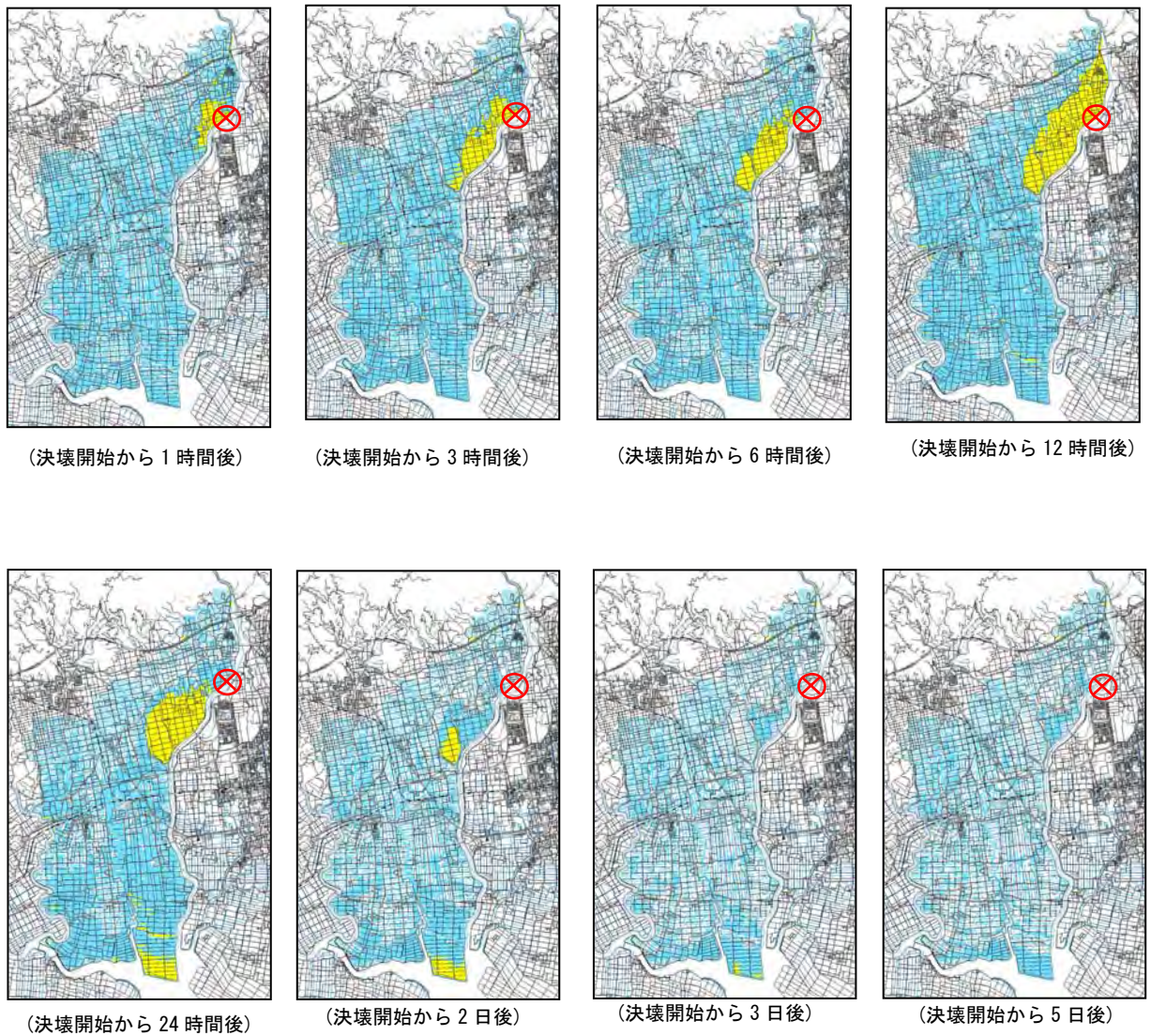


図 1.3.12(3) 水中歩行困難範囲(③大和貯留型はん濇)

(決壊直前までの状況)



(降雨開始から2時間後)



(降雨開始から5時間後)



(降雨開始から10時間後)

凡例	
	想定決壊箇所
	水中歩行による避難が困難
	水中歩行による避難が可能

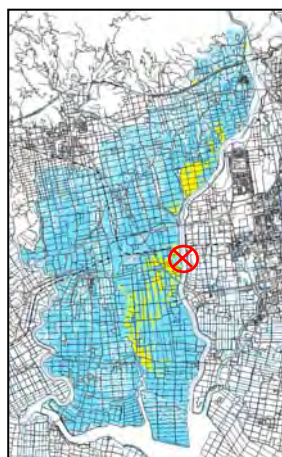
(決壊後から概ね浸水解消までの状況)



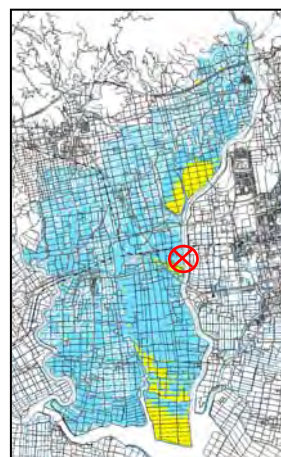
(決壊開始から1時間後)



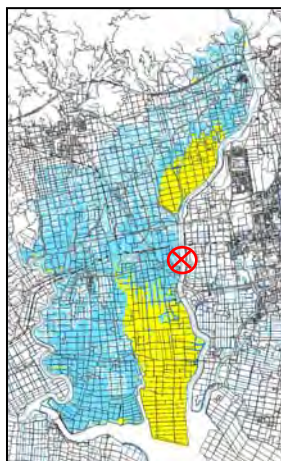
(決壊開始から3時間後)



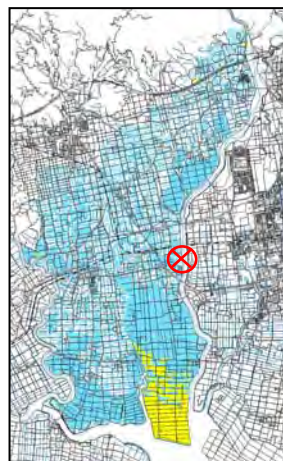
(決壊開始から6時間後)



(決壊開始から12時間後)



(決壊開始から24時間後)



(決壊開始から2日後)



(決壊開始から3日後)

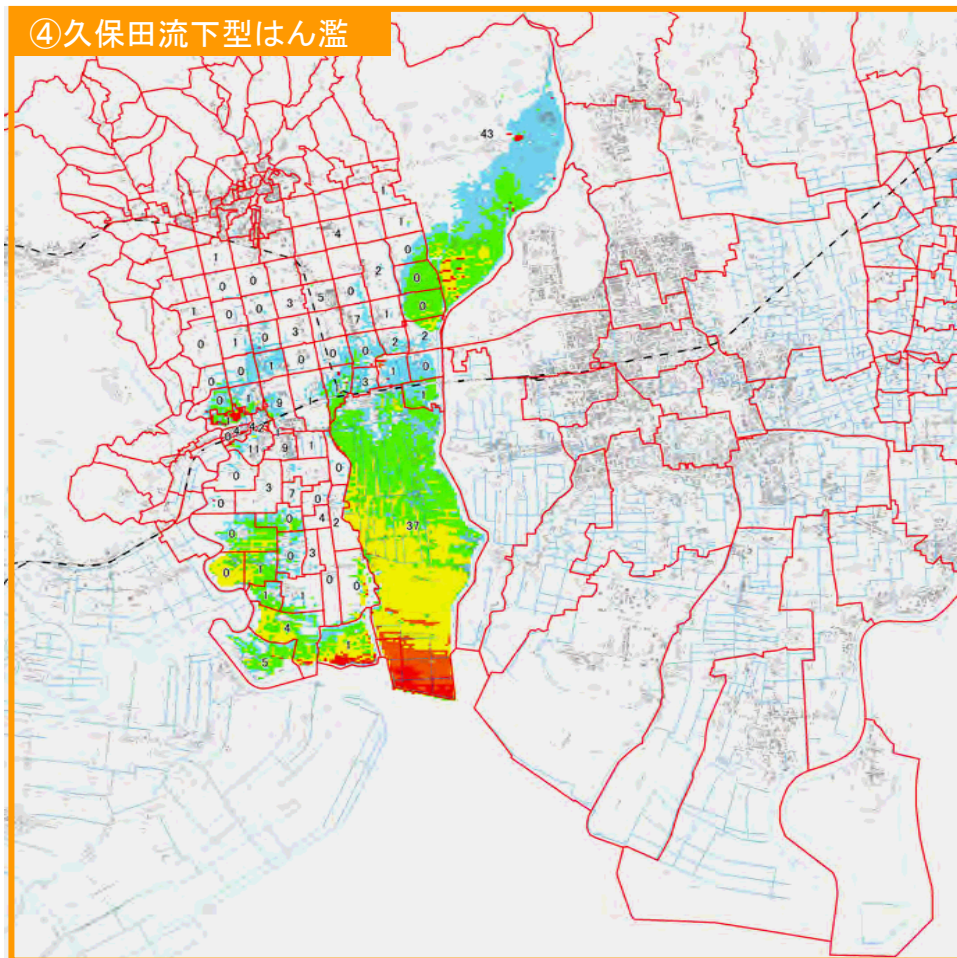
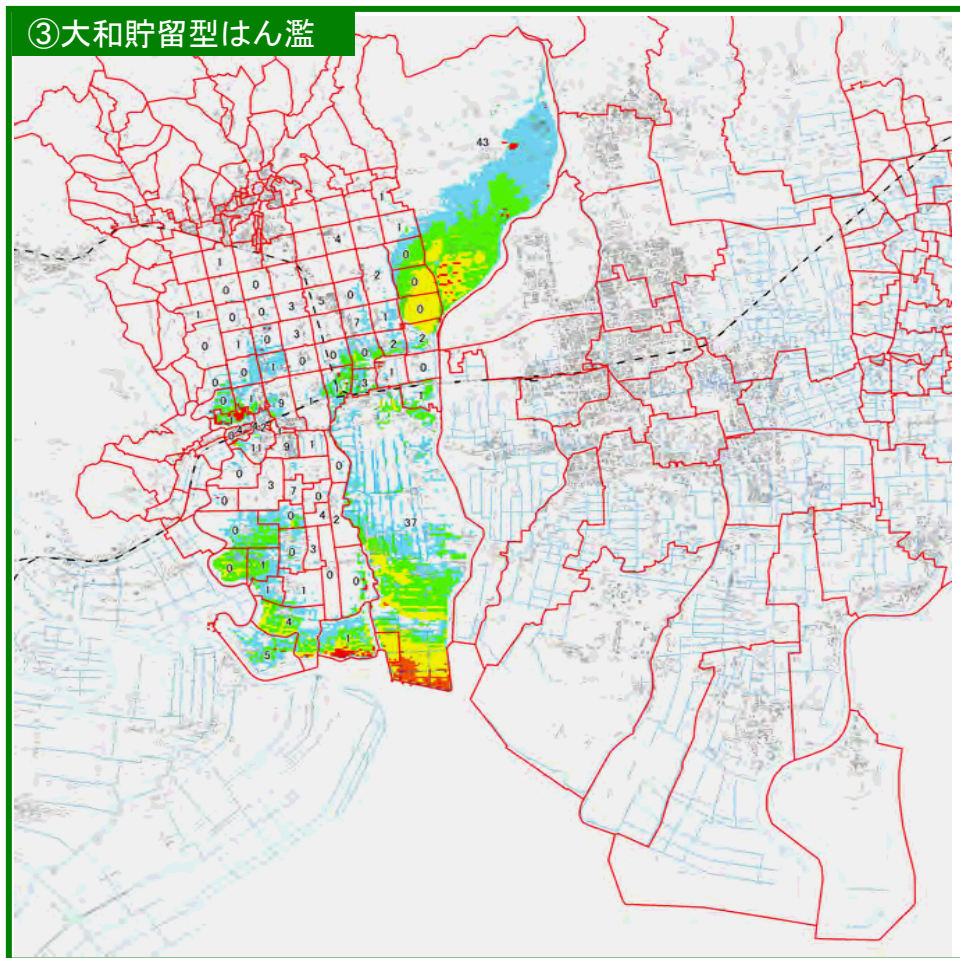
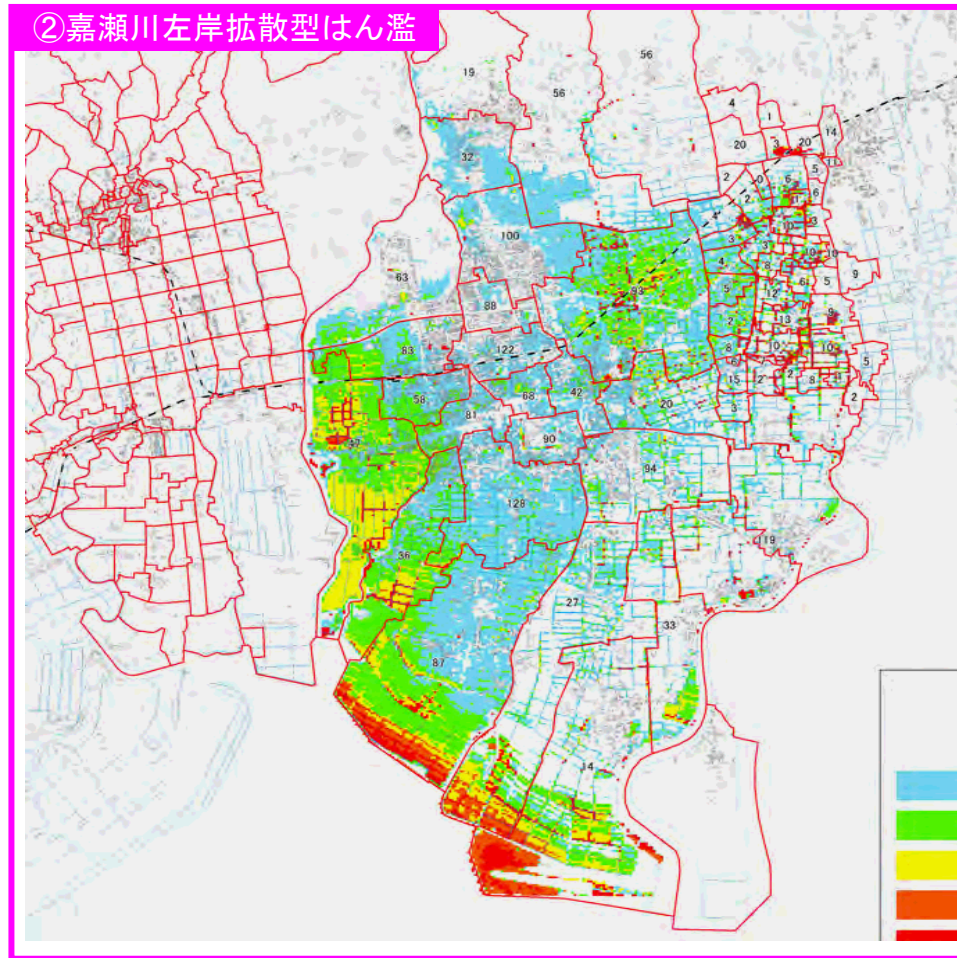
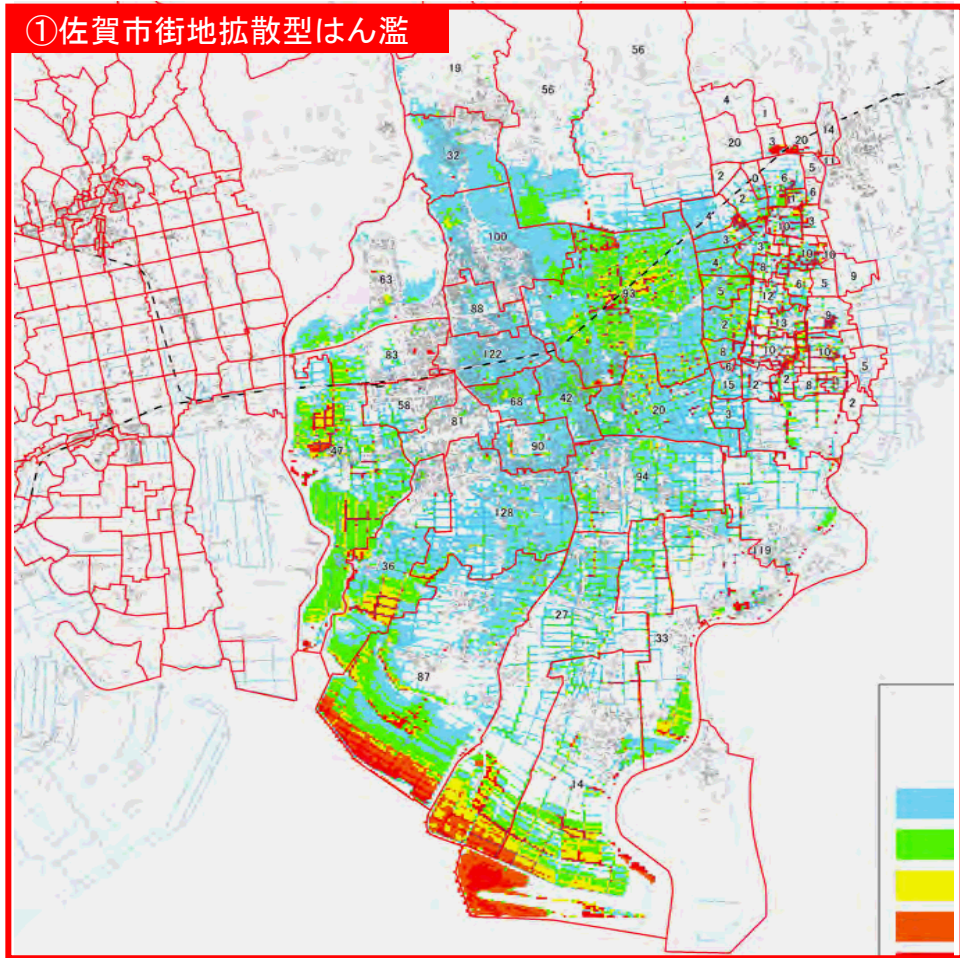


(決壊開始から5日後)

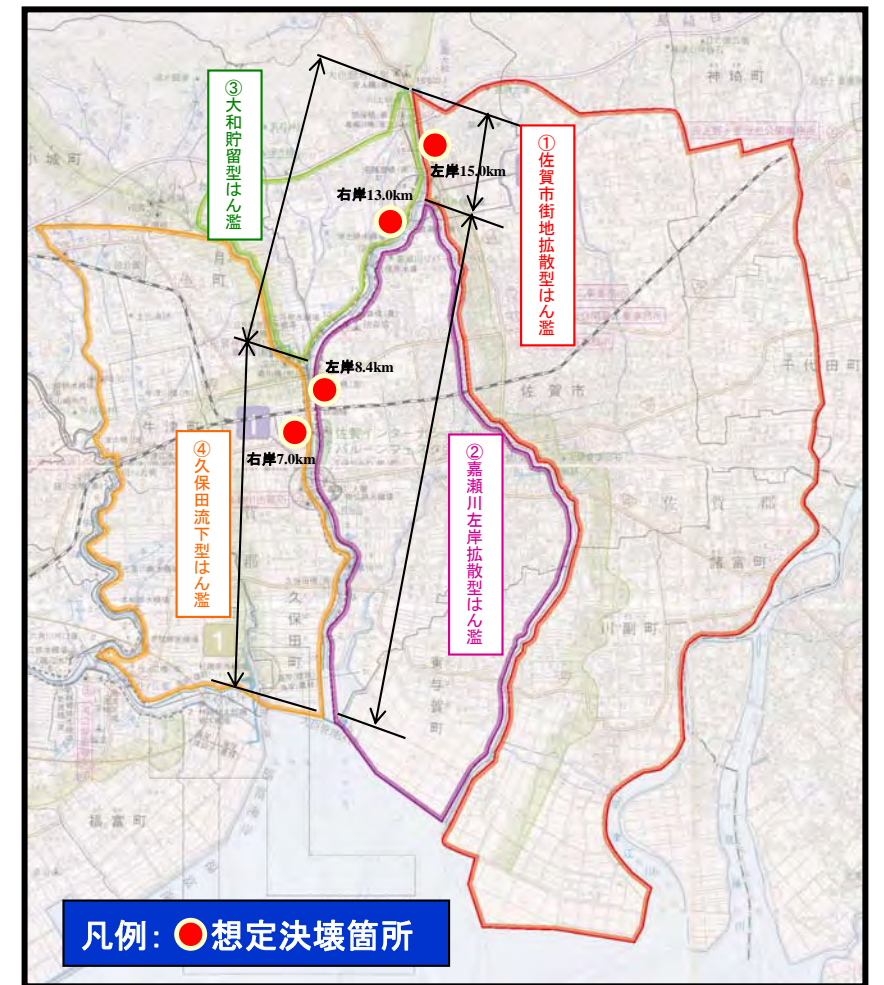
図 1.3.12(4) 水中歩行困難範囲(④久保田流下型はん濇)

⑦要援護者

- ・ 浸水深が 50cm 以上となる状態が 1 日以上継続するおそれがある範囲には、30～100 名程度の在宅要援護者数が登録されている地区が含まれる。
- ・ また、老人ホーム等の要援護者施設の一部では、施設が浸水するおそれがある。
- ・ 在宅要援護者の長期孤立化や要援護者施設の浸水被害が発生した場合、主に高齢者である要援護者の健康被害が発生することが懸念される。



【参考図】 類型区分と想定決壊箇所

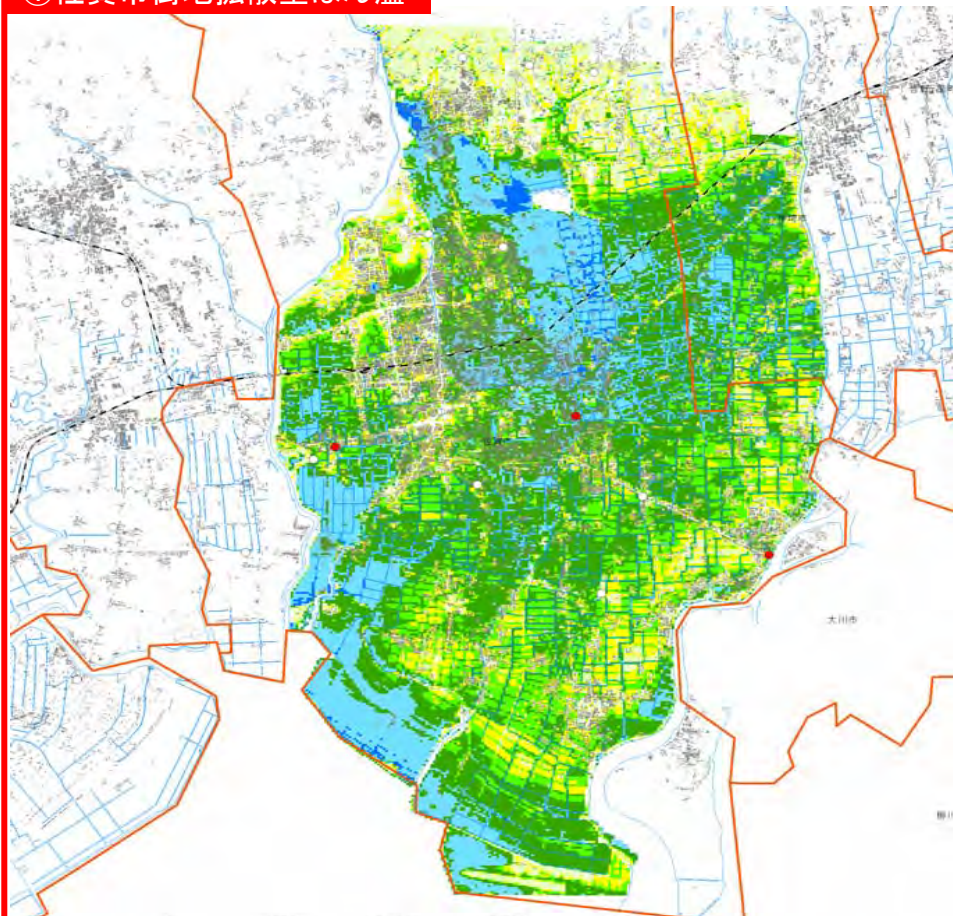


浸水継続時間		凡例
1日未満	2日未満	要援護者地区割
1日以上	4日未満	
2日以上	6日未満	
4日以上	6日以上	

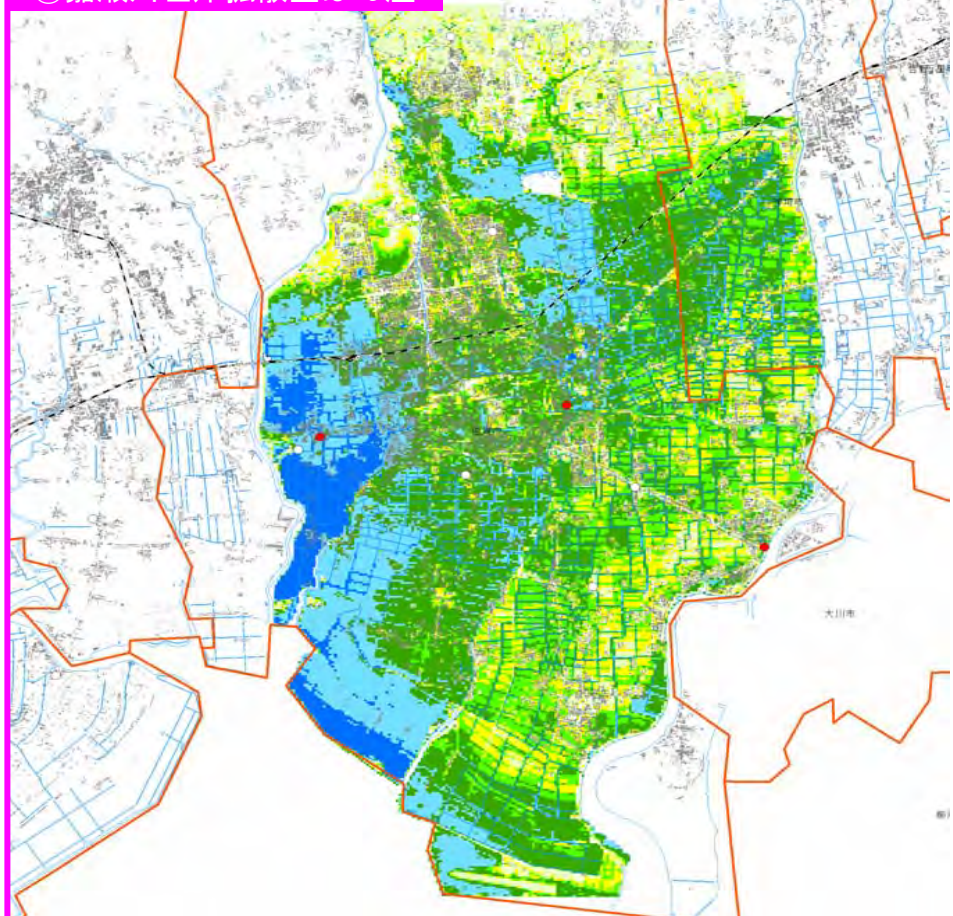
注) 浸水継続時間(浸水深50cm以上)
 要援護者数については、市に登録されている人数
 (佐賀市・神埼市・小城市資料より)

図 1.3.13 在宅要援護者数登録地区の浸水状況

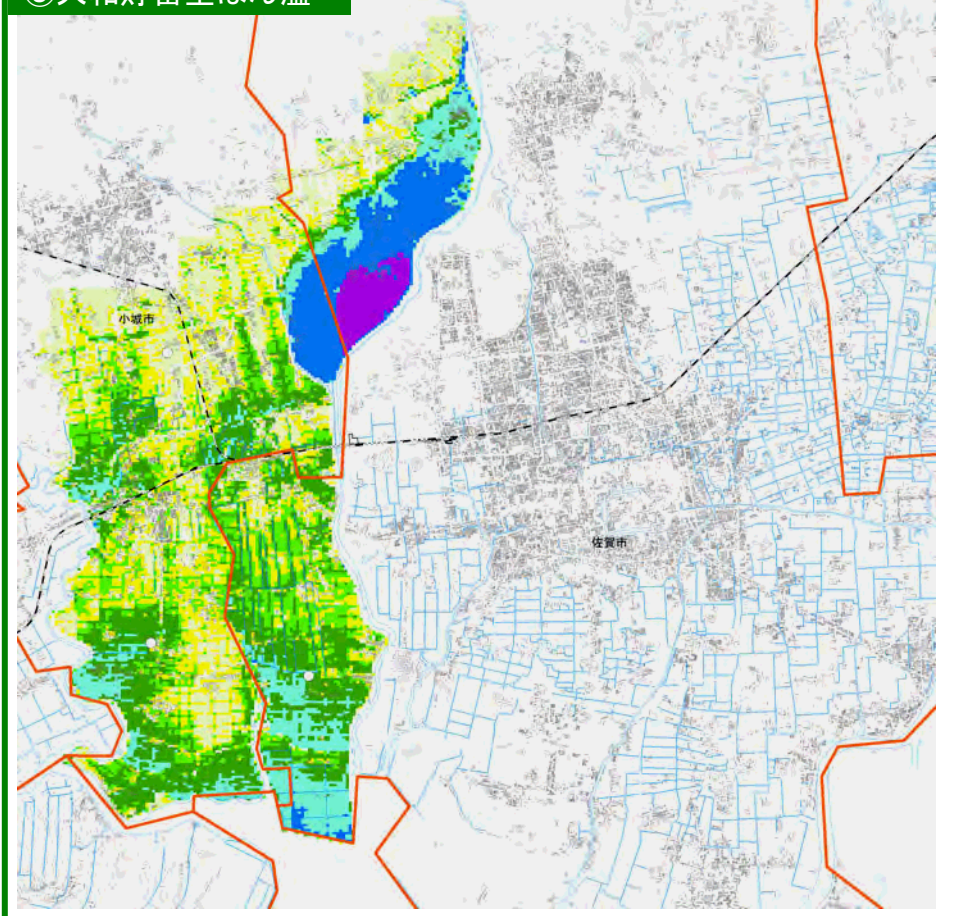
①佐賀市街地拡散型はん濫



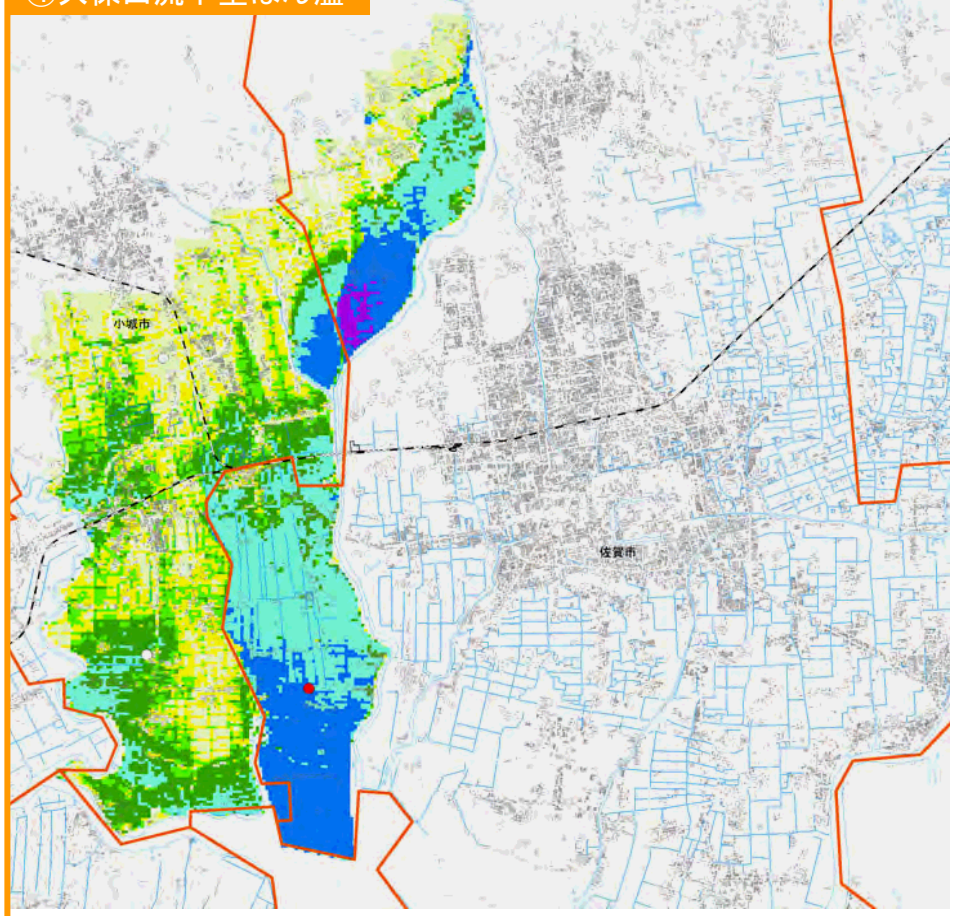
②嘉瀬川左岸拡散型はん濫



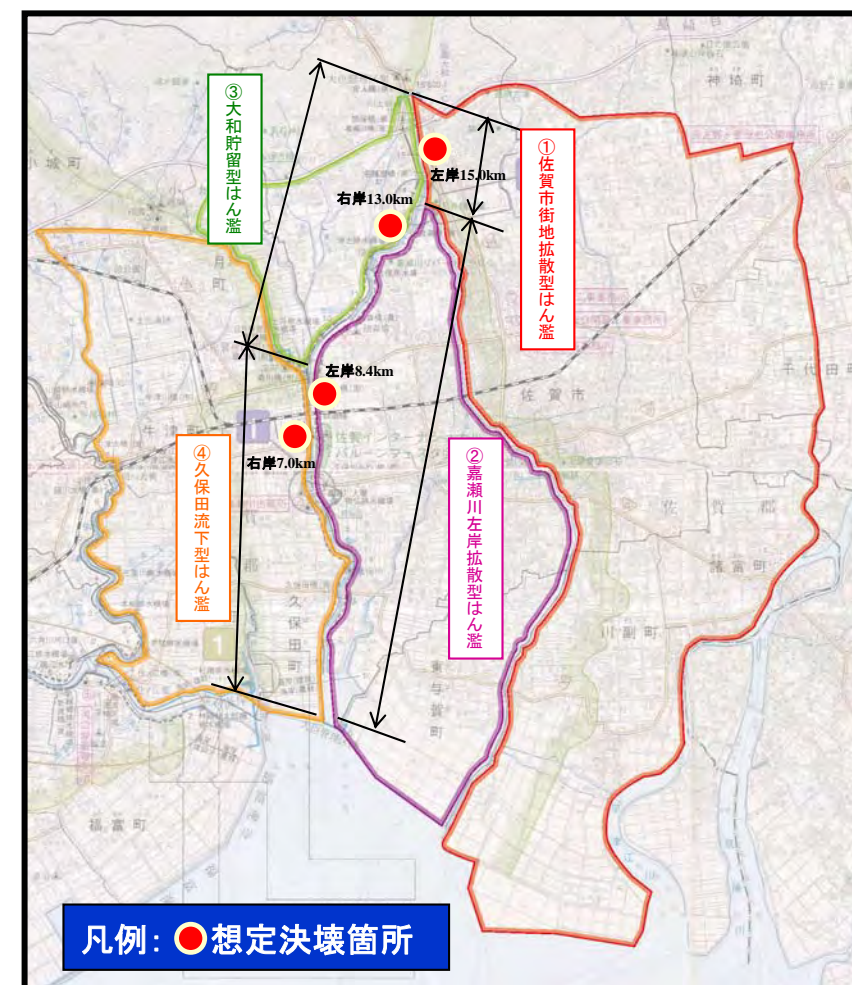
③大和貯留型はん濫



④久保田流下型はん濫



【参考図】 類型区分と想定決壊箇所



凡例: ●想定決壊箇所

想定浸水深		凡例	
	0.0~0.1m 未満の区域		浸水あり
	0.1~0.3m 未満の区域		浸水なし
	0.3~0.5m 未満の区域		
	0.5~1.0m 未満の区域		
	1.0~2.0m 未満の区域		
	2.0~5.0m 未満の区域		
	5.0m 以上の区域		

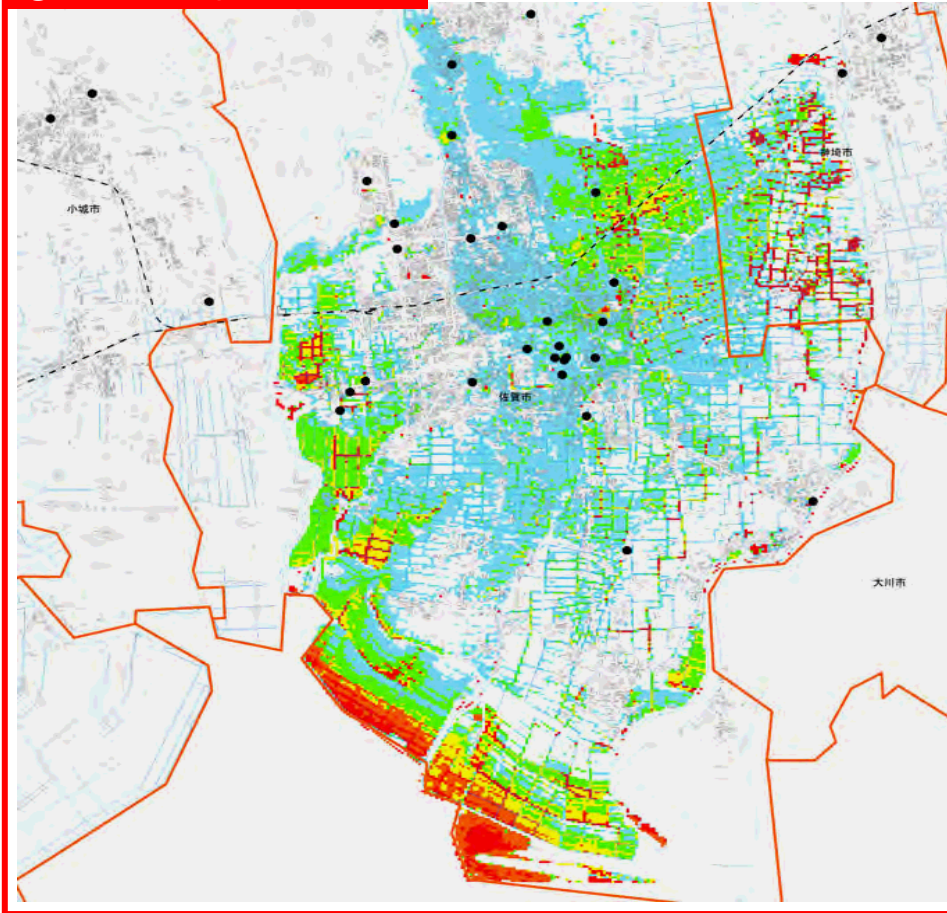
図 1.3.14 浸水のおそれがある要援護者施設

⑧ 病院

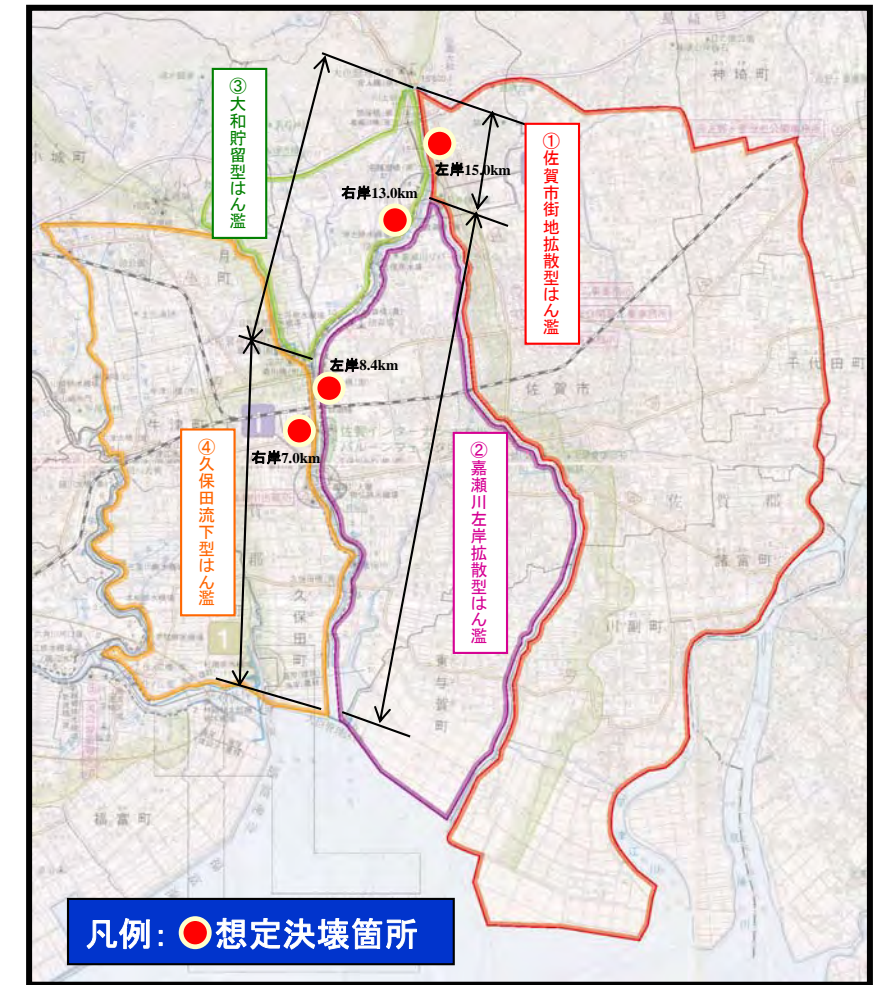
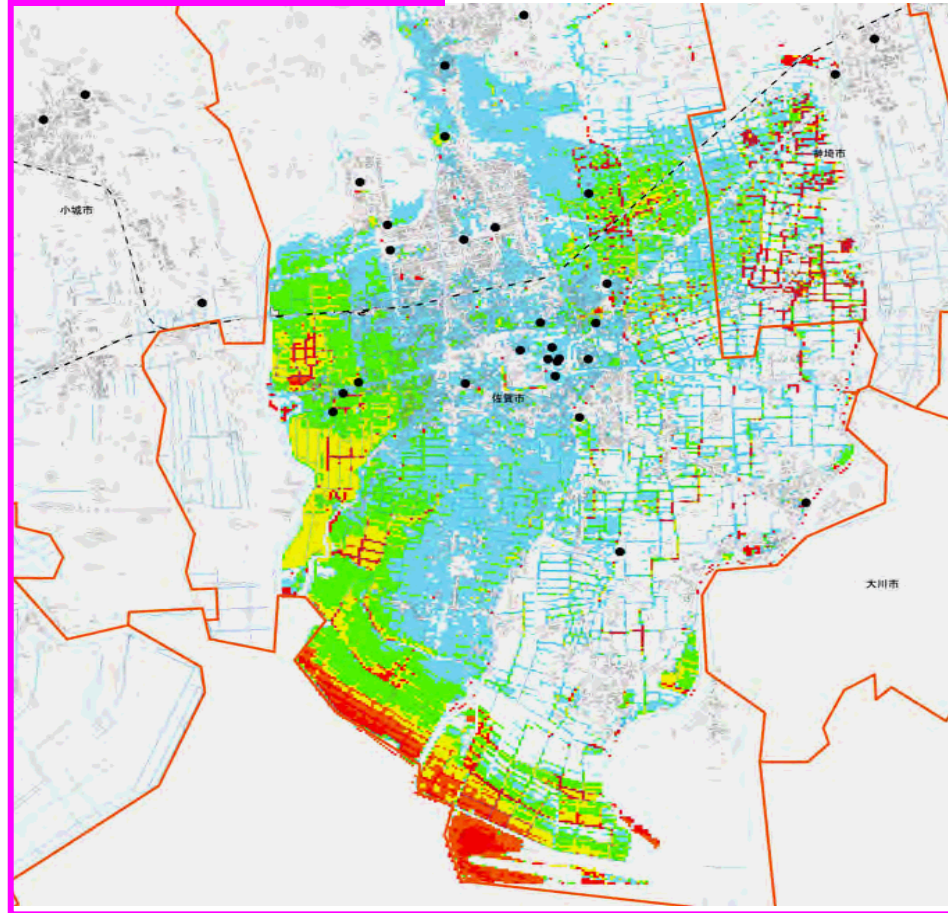
- ・ 浸水深が 50cm 以上となる状態が 1 日以上継続するおそれがある地区の周辺に、入院可能な病院が見られる。
- ・ 救急患者搬送への支障や、入院患者に要する救急資材不足など、浸水が長期化する病院の医療サービスの低下が懸念される。

【参考図】 類型区分と想定決壊箇所

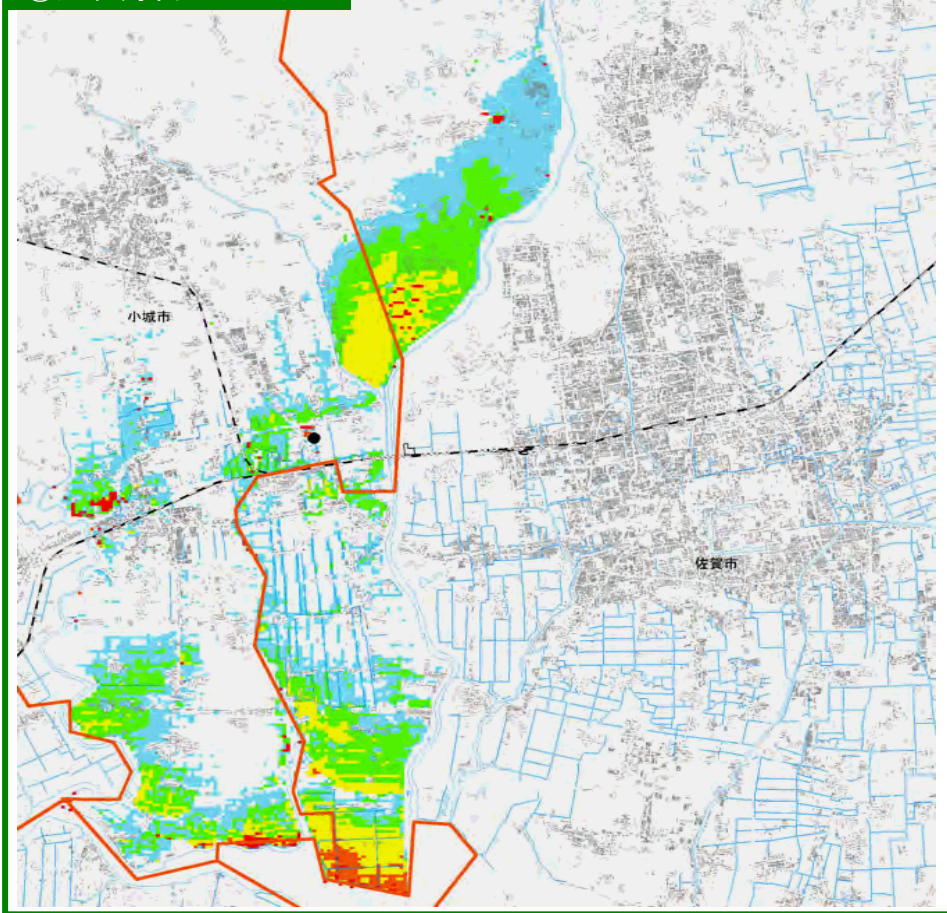
①佐賀市街地拡散型はん濫



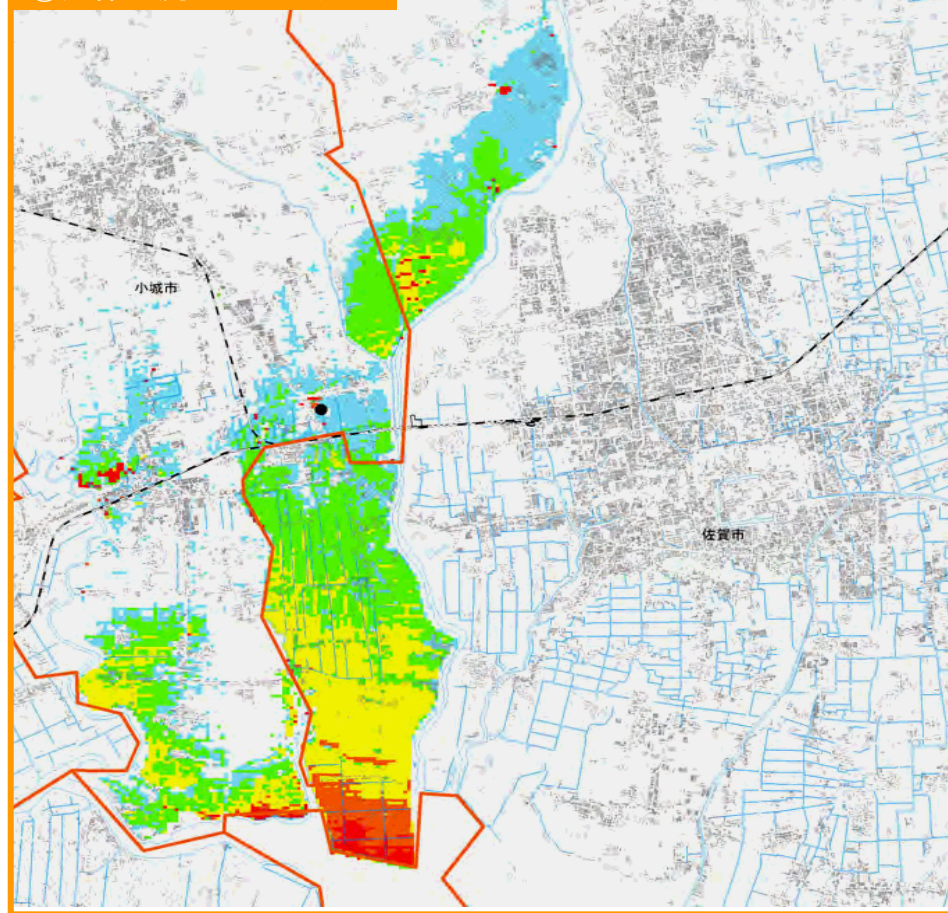
②嘉瀬川左岸拡散型はん濫



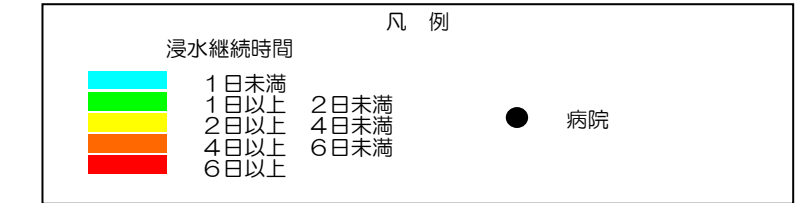
③大和貯留型はん濫



④久保田流下型はん濫



市町	病院名	市町	病院名
佐賀市	医療法人安善会田中病院	佐賀市	医療法人三和会長庫整形外科
	医療法人仁和会小池病院		医療法人北島整形外科
	医療法人長和会 島田病院		鶴野病院
	福田病院		池田内科医院
	清友病院		医療法人南里泌尿器科医院
	小野病院		医療法人森山胃腸科
	佐賀建設学園こども発達医療センター		医療法人会武外科肛門科
	医療法人社団 敬愛会 佐賀記念病院		医療法人小野川外科
	医療法人社団博文会 小柳記念病院		医療法人力武医院
	藤川病院		佐賀県医療生活協同組合神野診療所
	医療法人社団 真仁会 境野病院		藤内胃腸科内科医院
	神野病院		医療法人基壇整形外科
	医療法人社団真仁会藤原病院		藤内泌尿器科
	医療法人正和会田中病院		医療法人信愛整形外科医院
	医療法人民心会吉武整形外科医院		江頭クリニック
	佐賀県立病院好生館		医療法人源秀会技研医院
	早達江病院		佐藤整形外科
	副島病院		医療法人中野内科
	ふじおか病院		医療法人島内整形外科医院
	医療法人善誠会 至誠会病院		医療法人江崎外科内科胃腸科
	正島整形外科医院		Y.H.C.矢山クリニック
	佐賀大学医学部附属病院		やつぎ外科内科クリニック
	医療法人智仁会佐賀リハビリテーション病院		中尾医院
	独立行政法人国立病院機構佐賀病院		佐賀クリニック
	医療法人善隆会上村病院		医療法人千葉内科循環器科
	佐賀社会保険病院		夏手真木医院
	福田整形外科医院		杉原医院
	宮崎外科医院		藤田内科
	医療法人平林胃腸科外科		医療法人牧野医院
	医療法人高柳内科		医療法人中央クリニック
	医療法人永江内科小児科医院		医療法人双水会龍谷整形外科
	医療法人力武クリニック		岸川整形外科
	医療法人森永整形外科医院		
	森永医院		
	医療法人洋友会富内科		

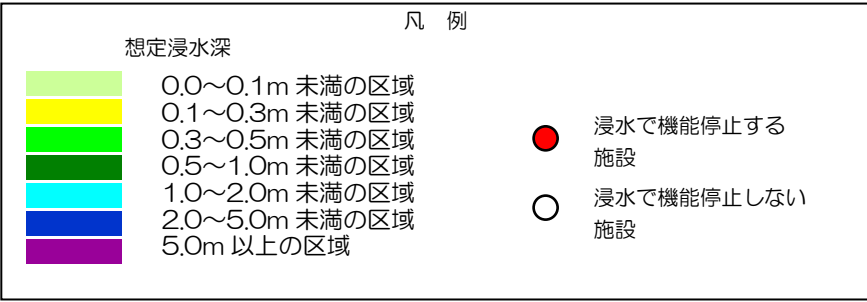
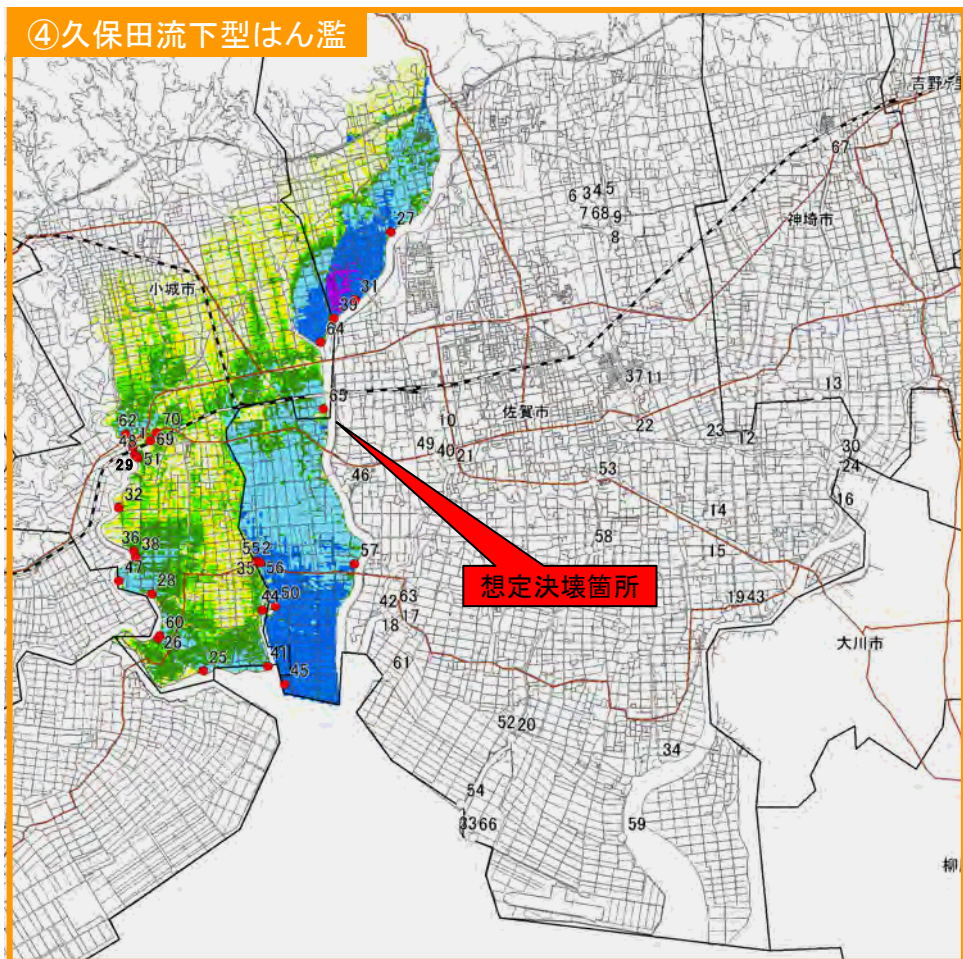
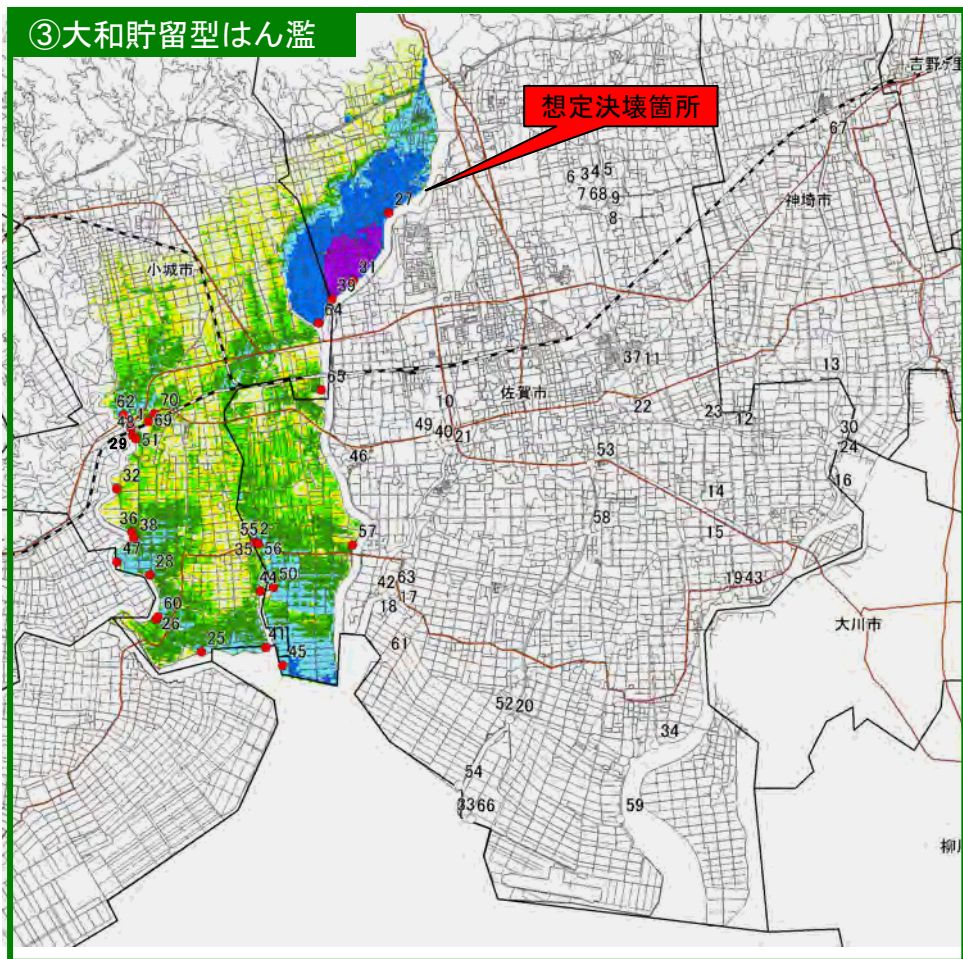
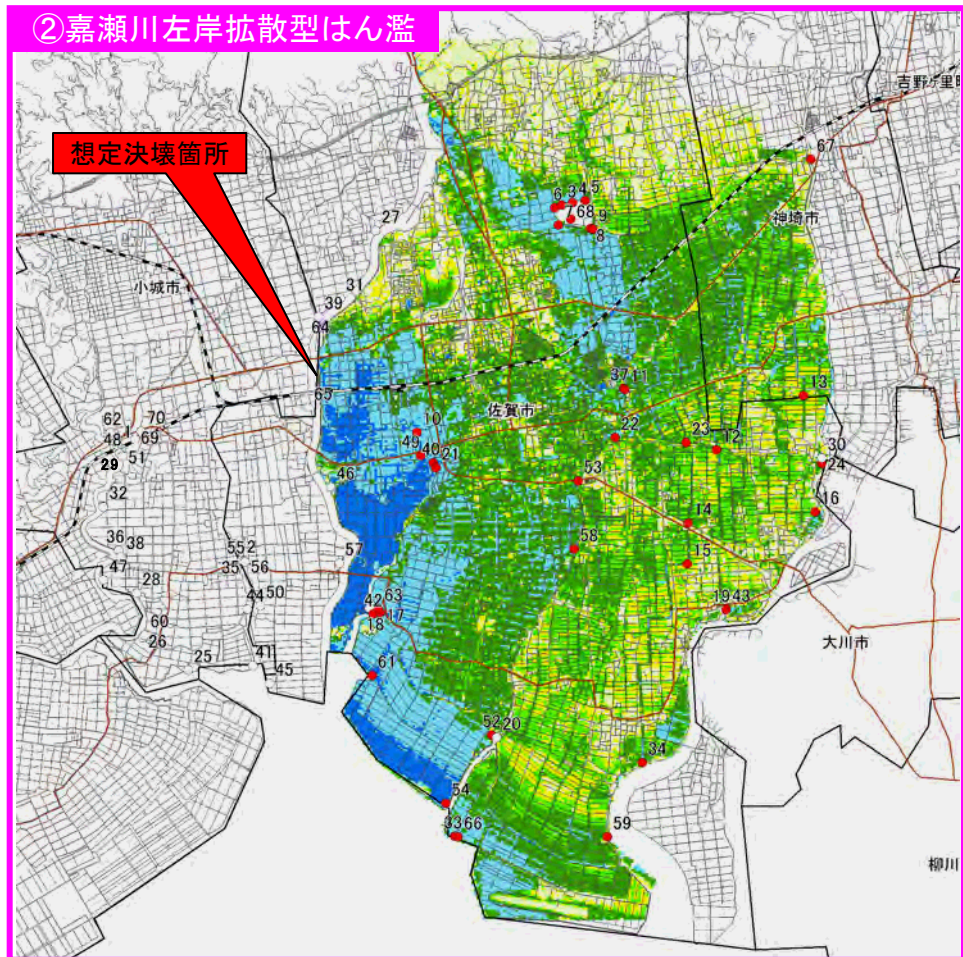
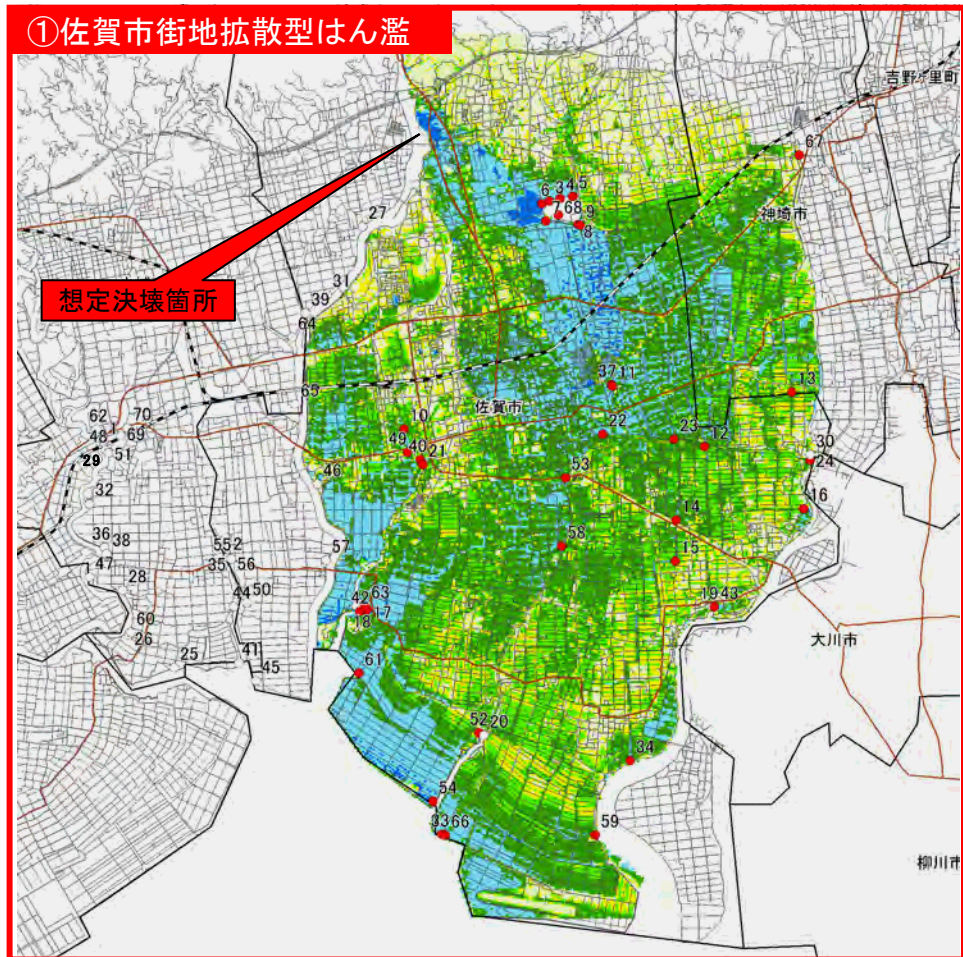


注) 浸水継続時間(浸水深50cm以上)
病院については、入院可能な施設を対象(WAM NETより)

図 1.3.15 入院可能な病院周辺の浸水状況

⑨ 排水ポンプ場

- ・ 浸水区域内に設置されている排水ポンプ場で、操作設備の浸水や電気系統の故障が発生した場合には、排水機能が停止するおそれがある。
- ・ また、排水ポンプ場については、接続道路の冠水により燃料補給ができない場合には、燃料切れにより排水機能停止となるおそれがある。



注) ● : 浸水で機能停止となるおそれがある排水ポンプ場 (浸水による機能停止の判定について)
 浸水して施設自体が機能停止する高さを確認し、計算によって算定した浸水位との比較により機能停止の判定を行った。

図 1.3.16 排水ポンプ場の浸水状況